

# すわみつえ通信

No.335 2024年10月28日

日本共産党鴻巣市議会議員  
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

総選挙

日本共産党は8議席を確保！

沖縄1区で  
赤嶺氏当選

与党自公過半数割れ 自民党・裏金政治にNOの審判が下る

10月27日投開票で行われた衆議院選挙で日本共産党は8議席を確保しました。皆さん方の大きなご支援に感謝申し上げます。

比例北関東ブロックでは塩川鉄也候補の1議席を守りぬくことができませんでしたが、梅村さえこ候補の議席奪還は残念ながらありませんでした。

埼玉6区では秋山もえ候補が大奮闘し、「裏金議員候補」を落選に追い込む大きな力になりました。秋山もえの国政への初挑戦はかないませんでしたが、この間、訴えた政策「学費今すぐ半額にして、ゼロをめざす」「中小企業直接支援で最低賃金時給1500円」「1日7時間、週35時間労働で自由な時間を」「ジェンダー平等社会」「高齢者医療費負担増ストップ」を実現するため全力をつくします。引き続きのご支援を宜しくお願いいたします。

比例北関東・塩川鉄也氏議席確保



当選を喜ぶ塩川氏（前列中央）と、梅村比例候補（その左） 27日

## 埼玉6区得票数

届出順	候補者名	届出政党	鴻巣	北本	桶川	上尾
1	ほそや みえこ	日本維新の会	5,867	3,011	3,675	11,788
2	中根 かずゆき		12,730	6,420	8,041	23,234
3	大島 あつし	立憲民主党	27,713	17,485	16,848	42,790
4	秋山 もえ	日本共産党	4,295	2,574	2,951	14,915

## 鴻巣市比例代表得票数

届出順	政党名	得票数
1	日本共産党	3,520
2	日本保守党	1,204
3	自由民主党	12,542
4	国民民主党	5,570
5	日本維新の会	3,489
6	参政党	1,506
7	公明党	5,554
8	社会民主党	941
9	立憲民主党	13,726
10	れいわ新選組	3,249

日本共産党が裏金事件と非公認候補への資金振込みを暴き、与党の過半数割れに大きく貢献しました。

【裏金】「2000万円」で  
自民党大敗!!

日刊紙 月3497円  
日曜版 月990円  
日刊電子版 日曜版  
3週間無料お試し出来ます!

スクープした  
しんぶん赤旗

ぜひご購読を

天高しノーベル平和賞被団協へ

【俳句コーナー】

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



## 箕田公民館・児童センター祭りに参加

10月26日(土)・27日(日)に開催された箕田公民館・児童センター祭りに参加しました。秋らしい陽気の中、フラダンスの発表や室内での「折り紙」や「絵画作品の展示」、今流行りの「ボッチャ」など日頃の活動の成果が披露されました。



私は初めて、「吹き矢」を体験しました。足の位置、構え、など教えていただき、何と全部、的に刺さりました。肺活量と精神集中が健康に良さそうでした。



## コスモスフェスティバルで気分転換



今年もコスモスを楽しませていただきました。猛暑の影響か、花が小さいように思いましたが、ピンク・白・オレンジが風に揺られているさまは、しばし喧騒を忘れさせてくれます。産地直送のリンゴと広島焼きもゲットし、身も心も満たされました。



鴻巣革新懇第14回総会で映画上映します



沖縄の言葉、ウチナーグチには「悲しい」という言葉はない。それに近い言葉は「肝ぐりさ」。誰かの心の痛みを自分の悲しみとして一緒に胸を痛めること。それがウチナーグチの心、ちむぐりさ。

そんな沖縄に、ひとりの少女がやってきた。北国・能登半島で生まれ育った、坂本菜の花さん、15歳。彼女が通うのは、フリースクール・瑞樹舎スクール。既存の教育の枠に収まらない個性的な教育と、お年寄りも共に学ぶユニークな学校だ。70年あまり前の戦争で学校に通えなかったお年寄りとの交流を通して彼女は、沖縄ではいまなお戦争が続いていることを肌で感じていく。次々に起こる基地から派生する事件や事故。それとは対照的に流れる学校での穏やかな時間。こうした日々を、彼女は故郷の新聞コラム「菜の花の沖縄日記」(北陸中日新聞)に書き続けた。「おじい なぜ明るいの?」疑問から始まった日記は、菜の花さんが自分の目で見て感じることを大切に、自分にできることは何かを考え続けた旅物語だった。少女がみた沖縄の素顔とは――。

沖縄テレビの開局60周年記念作品。監督は平良いずみ。第38回「地方の時代」映像祭グランプリに輝き、話題となったテレビドキュメンタリー「菜の花の沖縄日記」に未公開シーンを加えたいよいよ劇場公開。

ちむぐりさ

沖縄では、米軍基地周辺で子どもの命を脅かすことが頻発している。もし、自分の子どもや孫が通う学校に、直さ8キロもあるヘリの窓が落ちてきたら…。想像してほしいと、菜の花さんは懸命に言葉を紡ぎ続けた。その積み切った彼女の姿と言葉は、分断が進む時代において「希望、そのもの。映画で描いているのは、ひとりの少女の小さな小さな声」。でも、その声が、国境を越えて、きっと誰かの心にも届く。そう、信じています。監督 平良いずみ



日時 2024年11月9日(土) 13:30開場 14:00開演 (106分)  
会場 こうのすシネマ 多目的ホール A 参加協力券 1,000円  
主催 平和・民主・革新の時代を開く鴻巣の会(鴻巣革新懇)  
問い合わせ先: 諏訪晃治 090-9376-1408 伊藤正一 090-3599-0273